

といちくだよい

12月号
December

発行責任者 / 鎌谷 一也 編集責任者 / 西村 京二 2008 (平成20年) 12月号 鳥取県畜産農業協同組合



11/29 美歎牧場バーベキューハウスシーズン最終特別企画

京都生協ミニ懇談会

代表理事専務 西村京二

11月11日コープ牛乳産直交流協会主催の産直ミニ懇談会に出席しました。この日の対象は北行政区でした。参加者は若い組合員から年配まで年代を追って十数人。どちらかというと年配の方のほうが多かったでしょうが、美歎牧場の井本場長が飼料価格高騰による生産現場のコスト高の状況を説明した後、私は主に循環型農畜産業の取組みについて説明しました。

その前にプロローグとして、大山乳業の牛乳産直に10年遅れて鳥畜の産直が始まったこと、過去オイルショック時に酪農家が経営危機に陥ったこと、京都生協組合員によって鳥取の酪農家を救うため酪農振興基金が積み立てられたこと、近くはこだわり鳥取牛の取組み。しかし、若い組合員は酪農振興基金どころかこだわり鳥取牛さえ知りません。

改めて、生産側であるわれわれ鳥取からの絶え間ない情報提供とアプローチの必要性を痛切に感じました。

減反政策、堆肥の投入と飼料稲の栽培、TMR、そして牛への給与。この循環を説明すると、ある組合員から「大手メーカーは 牧場との提携とか言って取り組みと安全性をPRするのに、なぜこんないい取り組みをもっとPRしないのか」と発言がありました。

「提携」「安全」ではないわけですが、そこがメーカーのずるいところでは、われわれ現場サイドでは「提携」ではなく「実施者」ですから、飼料稲ひとつ説明するにも時間がかかります。ここは京都生協の職員や組合員にお願いするしかないのです。時間がかかってもここが産直の良さです。

鳥取こだわり牛の復活提供を早急に果たさなければなりません。

交流会で意見交換を行いました。鳥取の牛乳と牛肉を京都生協の組合員さんに消費していただくことが、鳥取の畜産農家を助け畜産の維持につながる」ということをわかっていただいたミニ懇談会になったと思います。

虹のフェスティバル・京都生協キャンペーン

総務事務管理部 森田真美

11月20日、21日に虹のフェスティバル、22日、23日と京都キャンペーンが開催されました。

私が参加したのは虹フェスティバルの21日と京都生協キャンペーンの22日の2日間です。初めて店頭販売、試食ということを経験させていただきました。大変勉強になりましたが、店頭販売の難しさを感じました。21日のにしても店は来店者が多くとても活気がありお店の雰囲気も良かったです。サーロインステーキを試食販売していましたが、日が暮れるまでにはほとんど完売状態で初めての経験にしては大変うれしい結果になりました。地元の京都生協組合委員の方のご協力があったからこそ結果だと思います。

1つ印象に残った事は、来店するほとんどの方が、紙に何を買って帰るのかというメモ用紙を男女問わず持っておられて、感心したことを思い出します。

今回のキャンペーンで上手に声を出せなかったもので、もし次回があれば、今回より声を出せるようがんばりたいと思います。



鳥取市同和企業連絡会主催の 研修参加を通して

11月28日に同企連初の合同グループ会議にて、フィールドワークに参加致しました。実施場所は、鳥取市内最大の同和地区である富桑周辺でした。今こそ同和对策事業で環境整備がなされ比較的住み良くなって来たようですが、依然として、様々な問題点が指摘されています。

これは他の被差別部落でも同じ悩みを抱えており、道路整備や建物の整備を中心とした、言わば、ばら撒き対策だけではその解決を図るには不十分であったことを物語っているように感じます。国の対策の割には充分な情宣がなされず、それを受ける自治体も周辺住民とのコンセンサスを欠き、その結果あつてはならない誤解が生じ、対立の構図を助長した面があります。外見中心の施策が生んだ悲劇と言えましよう。

こうした状況を生み出さないためには、情報もたらされるのを待つだけではなく、時には自ら求め、身の回りから正して行く勇氣を持つ事が必要なのではないでしょうか。

文責：伊藤

(株)東部コントラクターによる

飼料用稲の刈り取りについて

(株)東部コントラクター専務 遠藤憲明

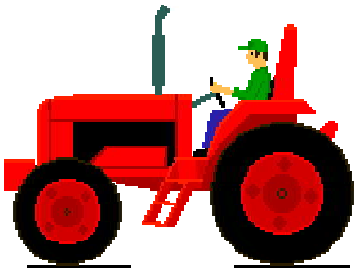
今年度は、収穫前段階で原油価格の高騰による資材(ラップ、トワイン)の値上がりまた畜産側にとっては輸入飼料の高騰という情勢の中で少しでもコスト削減また収量確保と安全で品質の良い飼料の供給ということが求められていました。

今年度の収穫面積は昨年度の96ヘクタールから20ヘクタール増の116ヘクタール(気高 鹿野含む)の収穫面積で職員5人、臨時職員8人計13人体制で9月12日から10月26日までという約40日間という長い収穫期間でした。

天候もよく、稲の生育状態もほ場もよく品質の良い飼料用稲を供給できました。

収穫の結果は全体で10571口ル(気高 鹿野1099含む)10aあたり9口ルとなり昨年の75口ルより大幅な収量増となりました。

今現在の作業は、ほ場への堆肥の散布を行っています。



1 1月の主な日程

日付	行事
1 1月 3日	夕礼
1 1月13日	ISO全体集会
1 1月15日	食肉委員会
1 1月19日	総務委員会
1 1月22日	生産委員会
1 1月22,23日	京都キャンペーン
1 1月26日	理事会

1 2月の主な日程

日付	行事
1 2月 1日	夕礼
1 2月 5日	東部座談会
1 2月10日	西部座談会
1 2月11日	若葉台小学校もちつき
1 2月12日	中部座談会
1 2月15日	臨時総会・理事会

理事会開催報告

開催日時:平成20年11月26日(水)午前11時から
協議事項

第1号議案 10月実績について

第2号議案 第3製造課について

第3号議案 駅前店について

追加協議事項

(4)スモール価格改定について

(5)哺育センターの集荷体制と今後の対応

- (6)各種補助事業の取組について
補助事業による稲発酵粗飼料ロールペー
ラー更新について
畜産振興事業の補助事業について
- (7)互助会関係の変更について
- (8)後援会の体制について
- (9)賞与について

上記の議案が議決されました。

編集後記

あつという間に今年も残り少なくなりま
した。年末といえば、大掃除、お歳暮の時
期になったなあと思います。

私事で申し訳ありませんが、家での大掃
除はいつもぎりぎりの年末にするのです
が、今年は何かと忙しく、日頃なかなか掃
除できない所を年末に掃除するようにして
いるのですが、時間が無いので、できる時
に少しずつ思い掃除をしていたある日の
こと、なんと！封筒の中から1万円札が出
てきました。うれしいのと、ああ掃除して
よかったですと思いました。

1年間お世話になった家、職場の日頃掃
除できない場所をきれいに掃除すると大変
ですが、もしかしたらいい事があるかもし
れないのでがんばって掃除をしましょう。
毎年恒例ですが、お世話になった方々に
お礼と感謝の意を込めてお歳暮を送りたい
と思います。

お問い合わせ先

鳥取県畜産農業協同組合

住所：鳥取市若葉台南7丁目108-12

Tel：0857-52-1129

Fax：0857-52-1131

e-mail：toriciku@infosakyu.ne.jp

HP：http://www.infosakyu.ne.jp/
toriciku/